

## 第2学年 音楽科学習指導案

日時 平成24年10月11日(木)

学級 2年B組 男子18名、女子10名 計28名

場所 音楽室

授業者 宇津宮美奈子

### 1 題材名 豊かな合唱表現をしよう

[教材]『地球星歌』

### 2 題材について

中学校の時期は、人間の精神的な発達段階でも、もっとも感受性を高めることができる時期である。この時期には、様々な人とのふれあいを通して、豊かな人間性を育むことが大事である。音楽には、生徒の心を育てる力があり、それは、子どもたちがお互いに信頼しあい、励まし合いながら、ひとつの音楽を作り上げていくことによって、仲間としての連帯感を作り出していくことからいえる。また、心を許せる空間にないと、意欲的・創造的な音楽活動や達成感は得られにくい。音楽活動の中でも、合唱は生徒一人ひとりが自分の声で表現でき、また学級、学校として一つのものを作り上げる喜びを感じ、分かち合える特性を持っている。

本題材は、生徒たちが日常慣れ親しんでいる「合唱」について、音楽の構造に踏み込み、歌詞の内容や音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を理解したうえで、全体の響きを感じ取ったり、知覚した要素を生かして表現の工夫をして演奏効果を高める表現を試みたりする学習活動を展開するために設定した。

すなわち、学習指導要領に示された指導事項のうち、以下の内容について指導を行う。

#### A 表現(1)

ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。

ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら歌うこと

#### [共通事項]

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらのはたらきを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

ア、については、「曲想」とは楽曲固有の表情の味わいのことであり、それは様々な音楽の諸要素の働きによって生み出されているものである。また、「歌詞の内容」には、意味的な内容だけでなく、その背景にある情景は心情なども含まれる。生徒自身が歌詞の内容や曲想を感じ取ることによって、自己のイメージや感情を膨らませ、その過程を経て、表現の工夫をする音楽活動につなげることが大切だと考える。

2学期に行われる文化祭に合わせて、さまざまな合唱曲を題材として「音楽表現の創意工夫」に取り組んでいる。曲にふさわしい表現方法を、生徒が自ら考え工夫していくという経験は、生涯にわたって音楽を愛好していく心情をはぐくむことにつながるものである。

今回教材として取り上げた「地球星歌」は、歌いだしはユニゾンで始まり、やさしく伸びやかな旋律である。途中から3部合唱になり色彩豊かな音楽となる。そして転調を経て盛り上がりが登場してくる。

ユニゾンからハーモニーへの変化、他声部との掛け合い、転調など、表現の工夫がしやすく、演奏効果を実感することができる合唱曲である。

### 3 生徒の実態

本学級の生徒は、歌唱の授業に真剣に取り組んでいる。中学校1年では、伴奏つき混声三部合唱の教材を6曲程度歌う中で、歌詞の内容や曲想、旋律などに簡単に触れてきている。

女子生徒はパートなどのグループ活動においても自分たちで練習を行う。しかし、意欲的に音楽活動に取り組むところまではいたっていない。歌唱表現においても、歌詞や旋律、強弱などわかりやすいところから気づかせるようにしているが、それらの要素をもとに創意工夫を意識できるのは一部の生徒にとどまっている。男子生徒は変声が落ち着き、のびのび歌う生徒もいるが、音程が不安定で自信を持って歌えない生徒も多い。

楽曲から得られる楽譜上の記号や拍子、リズムなどについて基礎内容として理解させながら学習を進め、音楽を形づくっている要素に気づき、パートごとに意見を出し合う場面で、ほかの意見を聞くことで気づけない生徒も意識し、表現方法を工夫する場を設定したい。

### 4 題材の目標

	題材の目標	題材の評価規準
音楽への関心・意欲・態度	歌詞の内容や曲、声部の役割と全体の響きに関心を持ち、合わせて歌う学習に主体的に取り組む	①音程やリズムに留意しながら、意欲的に取り組んでいる。 ②歌詞の内容や曲想に関心を持ち、自己のイメージや感情の根拠を歌詞や強弱に見つけ、主体的に表現しようとしている。 ③各声部の役割について関心をもっている。
音楽表現の創意工夫	歌詞の内容や曲想を味わい、自己のイメージや感情を生かし、全体の響きの調和を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持つ。	①歌詞の内容や強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら曲の表情や味わいを感じ取りながらどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ②各声部の役割と全体の響きを感じ取って、合唱表現を工夫している。
音楽表現の技能	歌詞の内容や曲想を味わい、自己のイメージや感情を生かし、全体の響きの調和を感じ取って音楽表現をするための技能を身に付けて歌う。	①自分の声部を正確な音程やリズムで歌っている。 ②歌詞の内容や曲想から、イメージをもって合唱表現をしている。 ③他の声部との調和を生かしながら合唱することができる。
鑑賞の能力		

## 5 題材の指導計画

	学習活動
第1・2時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球星歌」のCDを聴き曲の雰囲気をつかむ。自分のパートの音符にラインを入れる。</li> <li>・パート練習用CDなどを使い、音取りのパート練習をする。</li> <li>・歌いづらい部分をチェックしたり、自分の課題として把握する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱し、パートとして不安定な部分を把握する。</li> <li>・うまく歌えない部分を中心に、工夫してパート練習をする。</li> <li>・歌詞の内容や曲想から自分のイメージや感情をまとめる。</li> </ul>
第3時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞からイメージされる表現になっているか聴き取る。</li> <li>・どのように表現したいか自分の思いをもち、それをもとにグループ練習を行う。</li> </ul>
第4時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容を味わいながら、曲想を意識して合唱する。</li> </ul>
第5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声部の役割や響きの調和について考える。</li> <li>・考えをもとに、パートに分かれて練習する。</li> <li>・学んだことを生かして全員で合唱する。</li> </ul>

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ①歌詞の内容により生まれる曲想に関心をもち、自己のイメージや感情の根拠を歌詞や強弱の中に見つけ、主体的に表現しようとする。【音楽への関心・意欲・態度】
- ②歌詞の内容や強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【音楽表現の創意工夫】

### (2) 本研究とのかかわり

本研究主題は、「学習に主体的に取り組む生徒の育成～表現活動を取り入れた授業の実践を通して～」である。

表現活動の場の設定として、学習プリントを使い、①自分の考えを書く、②自分の考えを話す、③他の意見を書く、④表現方法をまとめるという段階を設定している。自分の意見だけでは不十分だったり、自分の考えがもてなかったりする場合に、他者の考えを聞くことで、表現の幅を広げる手立てとしたい。

またその学習を生かしてグループでの練習を行い、思いや意図を生かしながらも表現を工夫させたい。

(3) 本時の評価規準

評価の観点	評価規準		
	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への具体的支援
音楽への関心・意欲・態度	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、表現の工夫について積極的に表現活動に結びつく意見を出したり学習シートに自分の考えをまとめたりしながら、自己のイメージや感情の根拠を歌詞や強弱に見つけ、主体的に表現しようとしている。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、自己のイメージや感情の根拠を歌詞や強弱に見つけ、主体的に表現しようとしている。	言葉や、強弱の変化について確認させながら、イメージを膨らませる。
音楽表現の創意工夫	歌詞の内容や強弱の変化を知覚し、それらの働きにより生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞や曲想にふさわしい歌唱表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	楽譜上の記号を確かめながら、歌詞とのつながりに気づかせる。

(4) 本時の展開

	学習活動		指導上の留意点・評価・援助
導入  7分	<p>1 挨拶 合唱 ・「地球星歌」を歌う</p> <p>2 課題の確認 学習の見通しを確認し、課題を把握する</p>	<p>・当番生徒に合わせる</p>	<p>・カデンツをして音楽の雰囲気高める。</p> <p>・前時までの学習を想起させ、改善点を探りながら歌い、本時の課題につなげられるように配慮する。</p>
	<p>歌詞や強弱の変化を生かした表現を工夫して合唱しよう</p>		
展開  38分	<p>3 課題解決の見通し ③の表現を工夫する【表現2】 ①録音した自分たちの演奏を聴く ②強弱記号、歌詞のかかわりを確認する</p> <p>4 課題の追及【表現3】 グループ練習</p> <p>5 グループごとに合唱発表</p>	<p>・歌詞からイメージされる表現になっているかを聴き取る</p> <p>・どのように表現したいか自分の思いをもつ</p> <p>・自分たちの表現を確認し、個々が感じたことを発表しあい、工夫する。</p> <p>・グループごとに練習した合唱を発表する</p> <p>・合唱聴いて感じ取ったことを発表する</p>	<p>・歌詞の内容や曲想に関心をもち、自己のイメージや感情の根拠を歌詞や強弱に見つけ、主体的に表現しようとしている。</p> <p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <p>◆学習プリント</p> <p>・歌詞の内容や強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながらどのように歌うかについて思いや意図を持っている。&lt;創意工夫&gt; (観察・学習プリント)</p>
終末  5分	<p>6 学習のまとめ【表現3】 工夫したことを確認し、合唱する</p> <p>7 自己評価【表現4】 学習したことを振り返り、良かった点、今後に向けての課題を書く</p>	<p>・歌詞と強弱の変化を意識して合唱する。</p> <p>・全体のバランスや音程や音色、表現の仕方について改善点を記録し、今後の表現の改善に役立たせる</p>	<p>・表現の工夫をしながら合唱させる。</p> <p>・次時の学習へつなげるように助言をする。</p>